

大学名 徳島大学

表題 社会課題の解決に向けた異分野融合研究の活性化と活用現場での実証研究の推進

徳島大学の研究・産学連携支援の概要

- ✓ 社会課題解決に向けた、研究企画～社会実装までの一連のプロセスを支援
- ✓ URA/産連コーディネーターを一体的に運用
- ✓ 専門人材の確保(弁護士、弁理士、メーカー出身の実務家教員等)
- ✓ 15名のURAが所属

参考URL
 徳島大学 研究支援・産官学連携センター
<https://www.tokushima-u.ac.jp/ccr/>



特色ある取組

異分野融合の促進：kundara(くんだら)-innovation

- 研究/産学プロジェクトの立案に向けた”場”の提供
グループワークやディスカッションを通じて、異分野、異業種の壁を超えた新たな関係性の構築につながる交流会を定期開催。有機的なつながりからイノベーションを生み出すことを目指す。
- 萌芽的研究プロジェクトへの支援
対話から生まれた萌芽的プロジェクトに対して、担当URAを配置。必要に応じて、発展への足掛かりとなる研究費を助成。



“くんだら”とは、、、
 「時間を忘れて楽しいおしゃべりが
 続いている」ことを意味する阿波方言

期待できる成果・評価

- ✓ 社会課題の解決に賛同する異分野の研究者の出会いの場を継続的に提供することによる、学際・融合研究の活性化
- ✓ 共創・協働により、単独の研究室、研究領域では解決不可能な社会課題に対する、新たなアイデア、イノベーションを創発
- ✓ 自治体、産業界と共にもものづくりによる実証研究をすすめることにより、研究成果の社会実装を加速/産業人材を育成

“ものづくり”基軸の実証研究：ものづくり未来共創機構

- 大学と産業界、そして地域が共創する、未来を拓くものづくり
大学で創出された研究シーズの実証研究を進める産官学連携のハブ拠点
民間や自治体が持つものづくりの「現場」、「現物」の実践的な知見を取り入れ、現実的な「ものづくり」と「実証研究」を推進。

■ 3つの技術領域と融合研究プロジェクト

大学の研究成果を活用し、高齢社会の安心・安全を「みる」を通して「みまもる社会」を実現

早期：「診る」	進行期：「視る」	回復期：「看る」
早期発見・迅速医療で 患者負担の低減	治療品質向上で 安心・満足	活動みまもりで 自立支援
セラノスティクス	医師の感覚拡張	リモートサポート

- 「ものづくり」を通じた研究成果の社会実装と産業人材育成
「ものづくり」を通して、学生や研究者が実際に手を動かし、試行錯誤を繰り返すことで、課題解決能力や創造性を養い、社会で活躍できる人材への成長を支援。